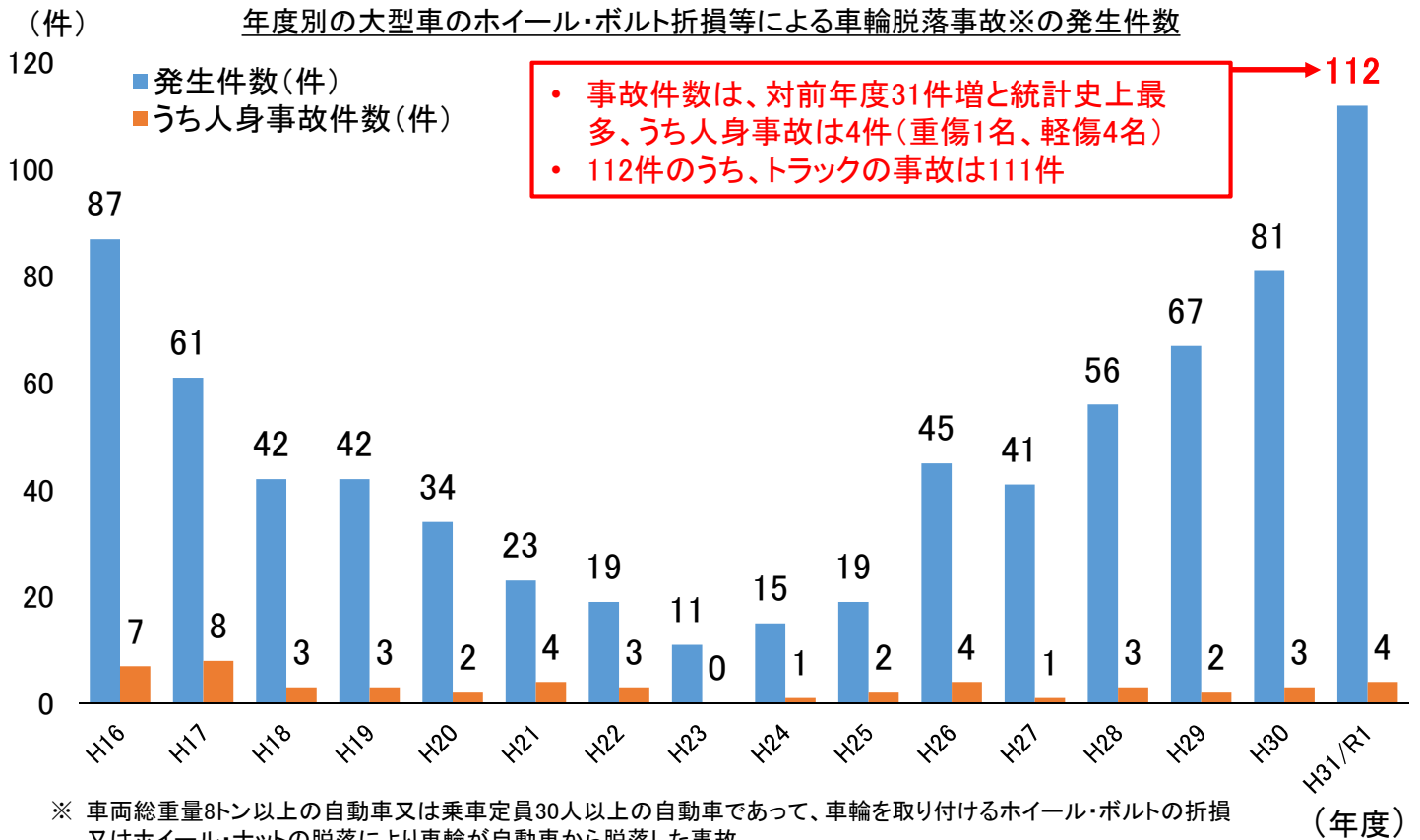
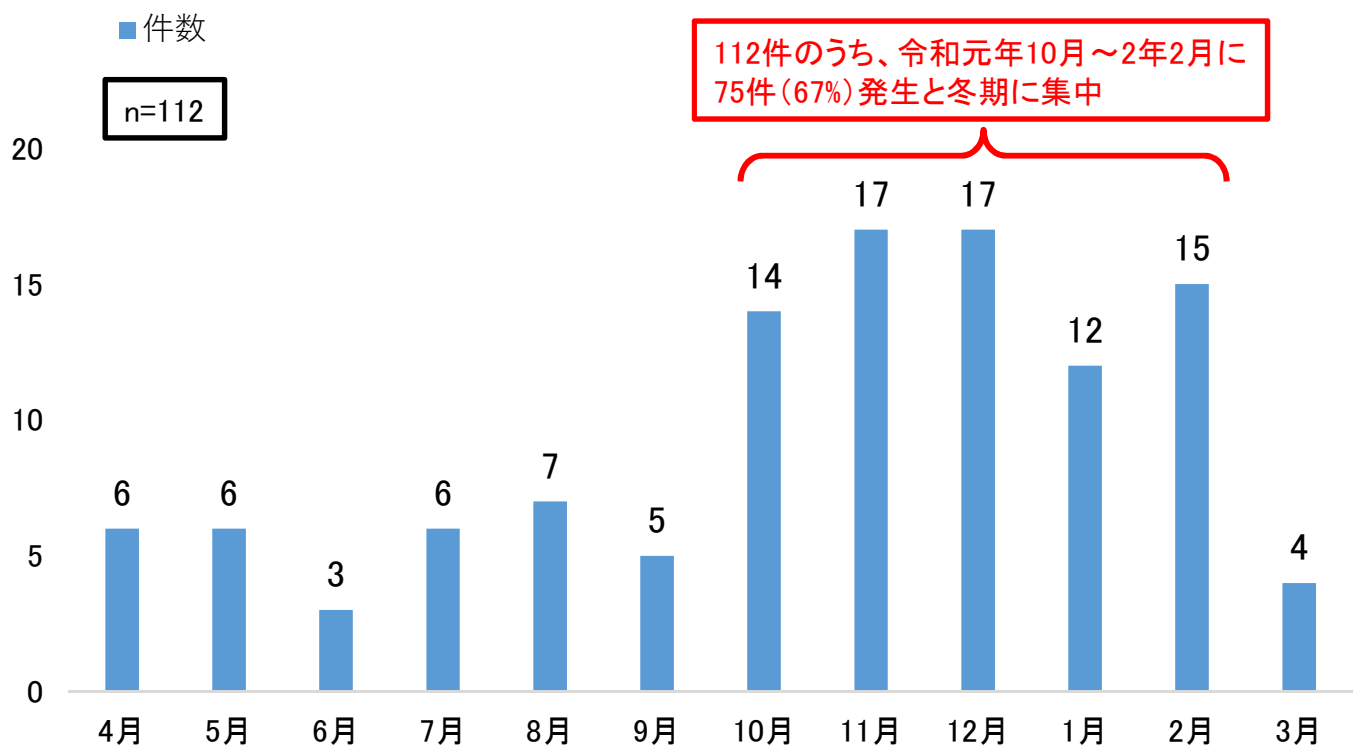


# 車輪脱落事故発生状況（令和元年度）【別紙1】



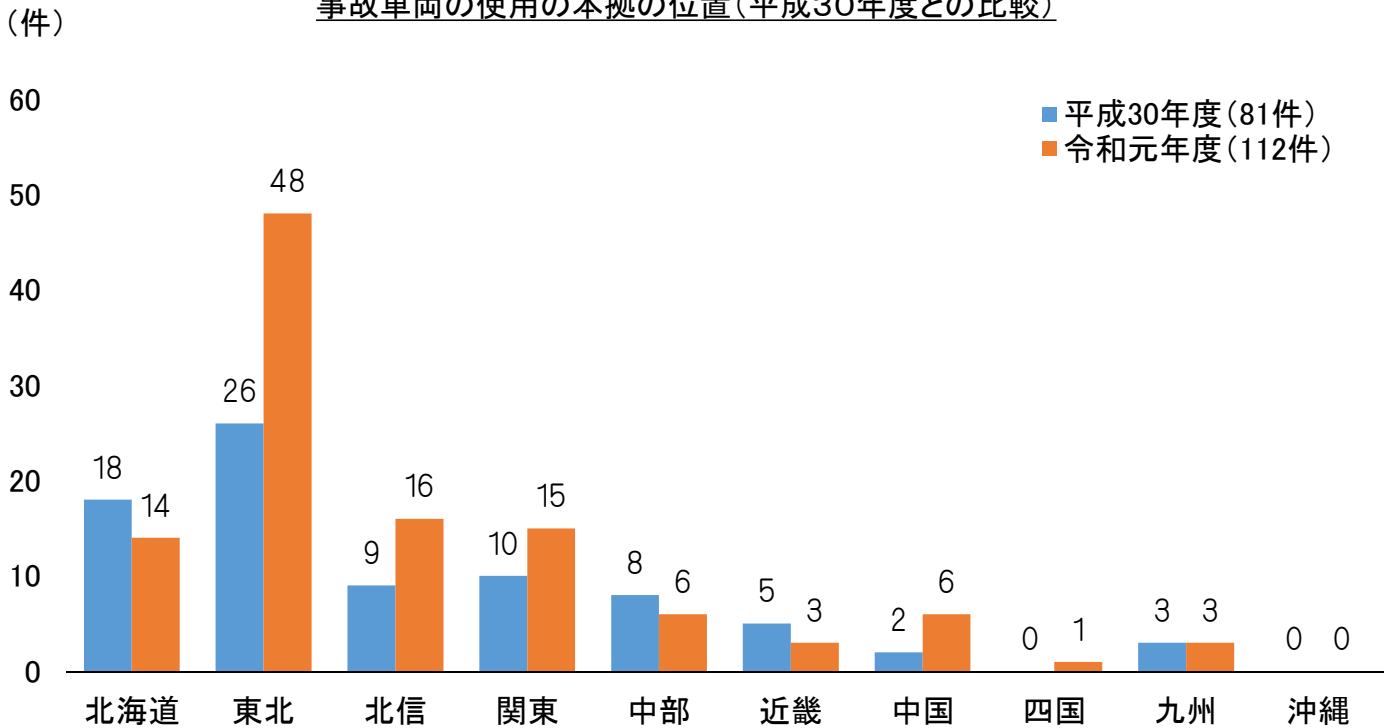
## 車輪脱落事故の月別発生件数



出典: 自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

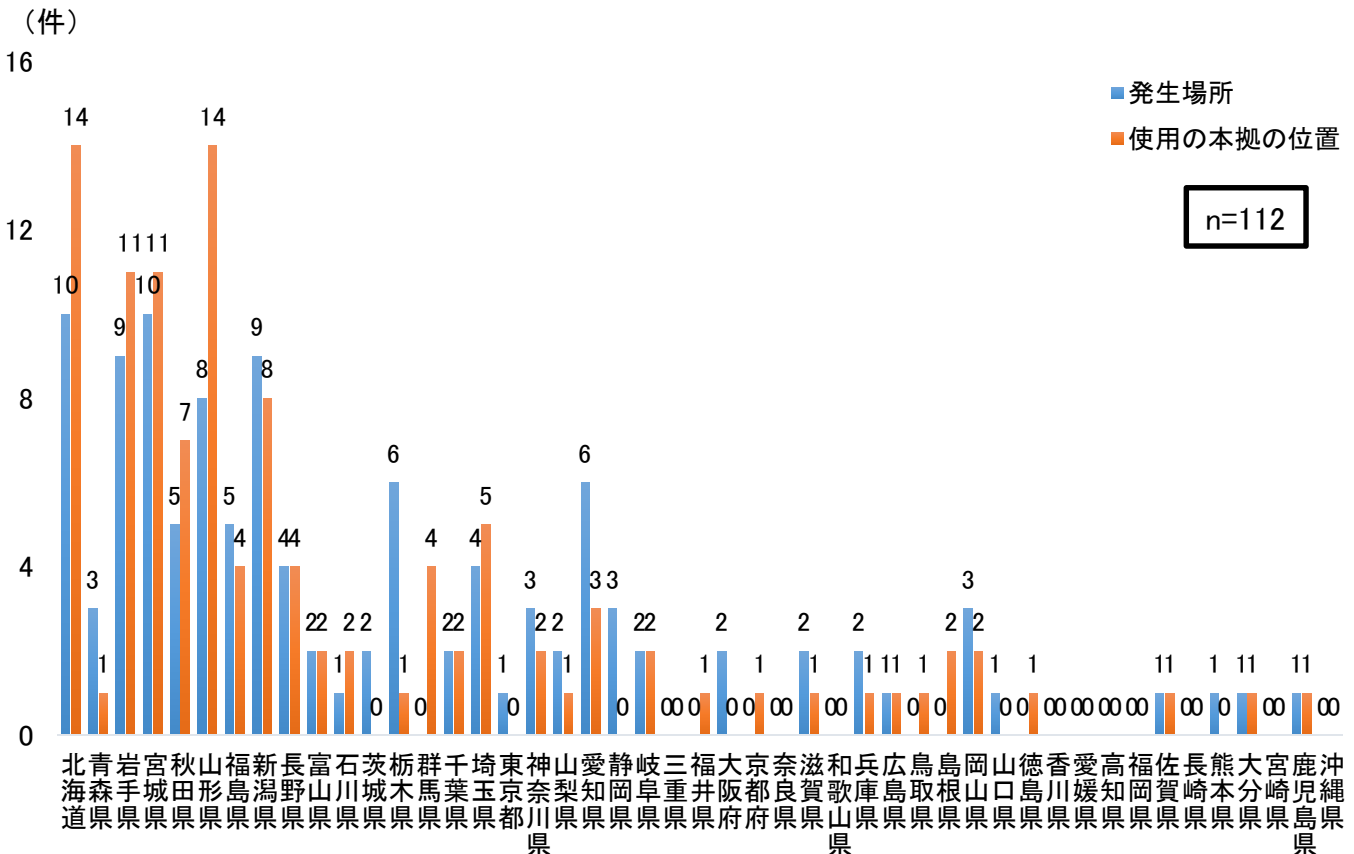
# 車輪脱落事故発生状況（令和元年度）

事故車両の使用の本拠の位置（平成30年度との比較）



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

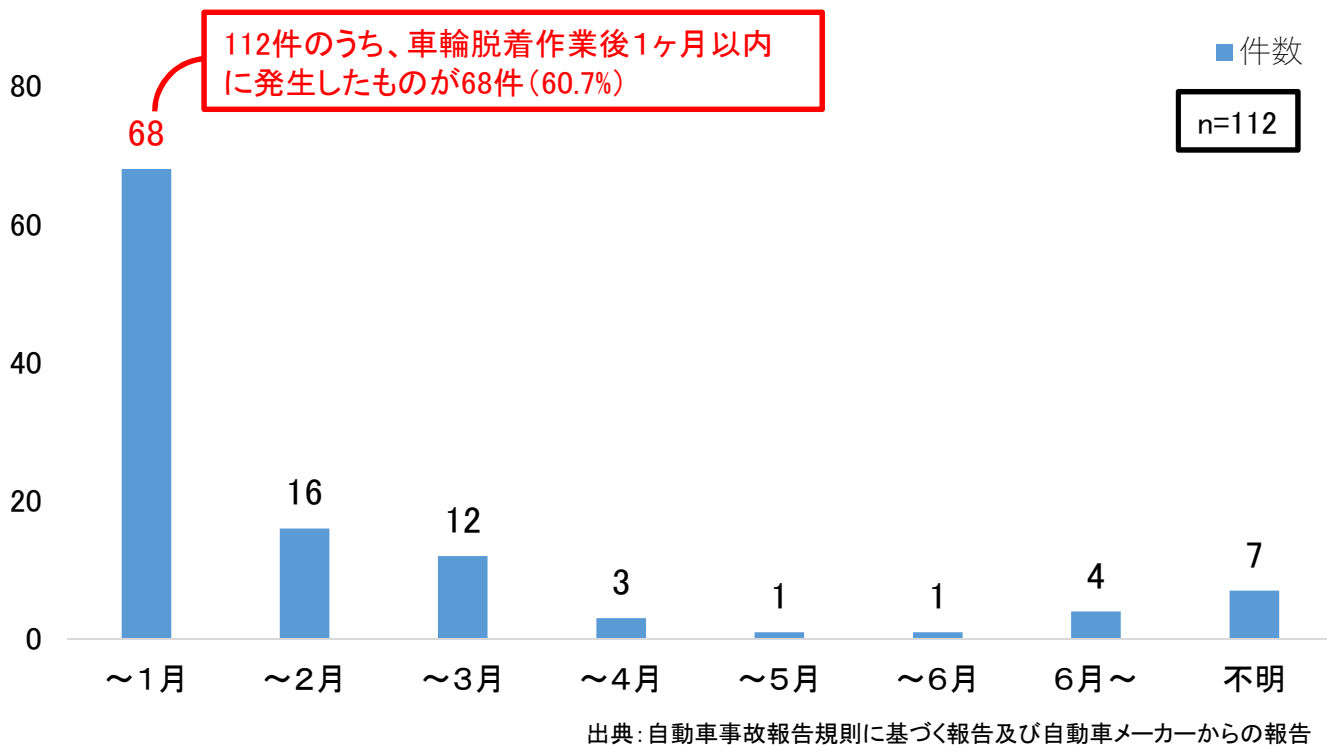
## 【 参考 】 事故発生場所、事故車両の使用の本拠の位置（都道府県別）



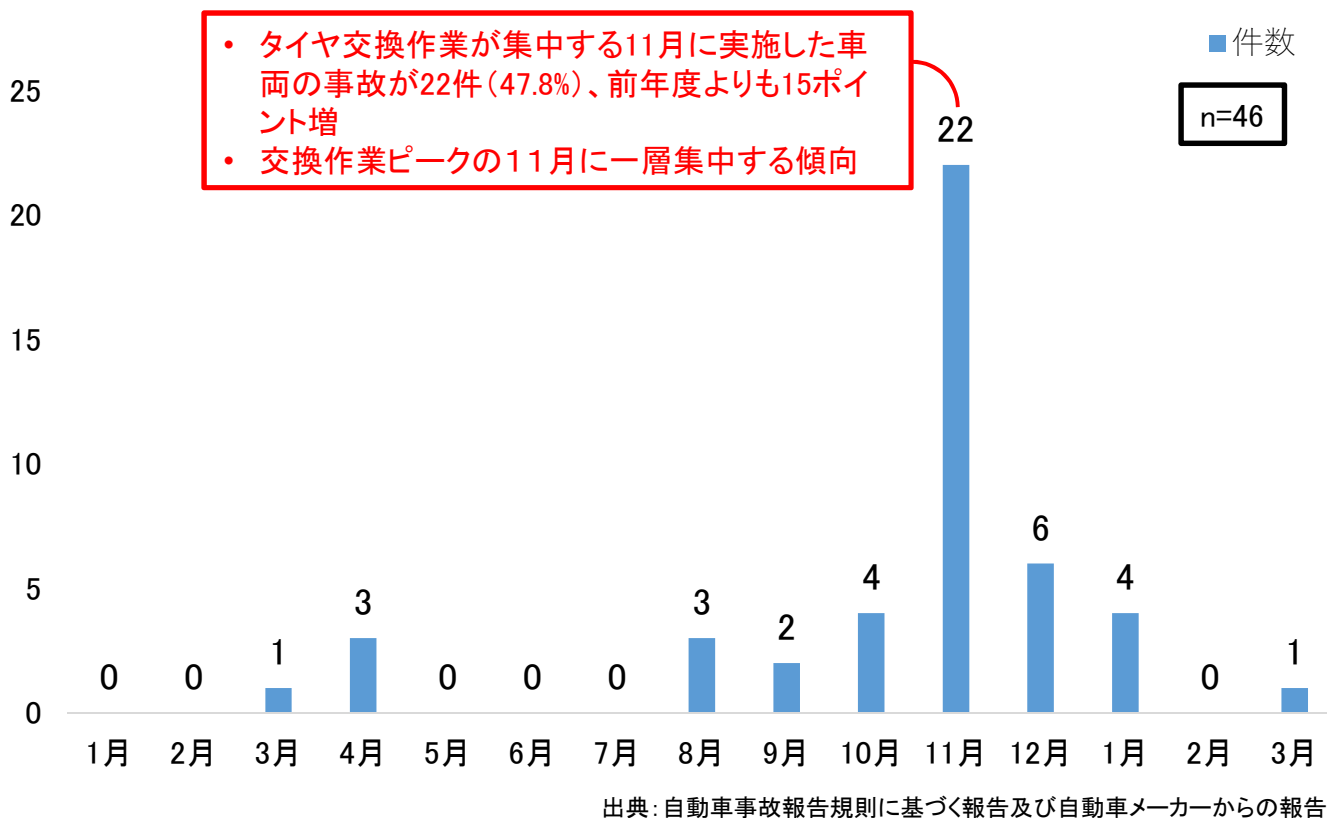
出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

# 車輪脱落事故発生状況（令和元年度）

## 車輪脱着から脱輪発生までの期間

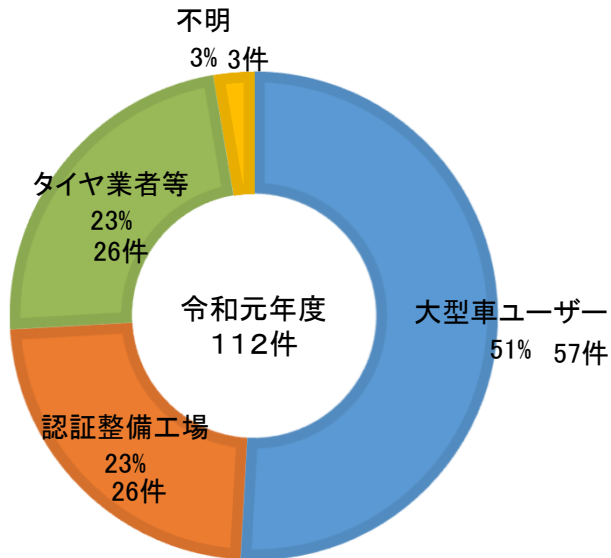


## 車輪脱落事故発生直前の3ヶ月以内に「タイヤ交換」を実施した車両の事故件数 (タイヤ交換実施月別)



# 車輪脱落事故発生状況（令和元年度）

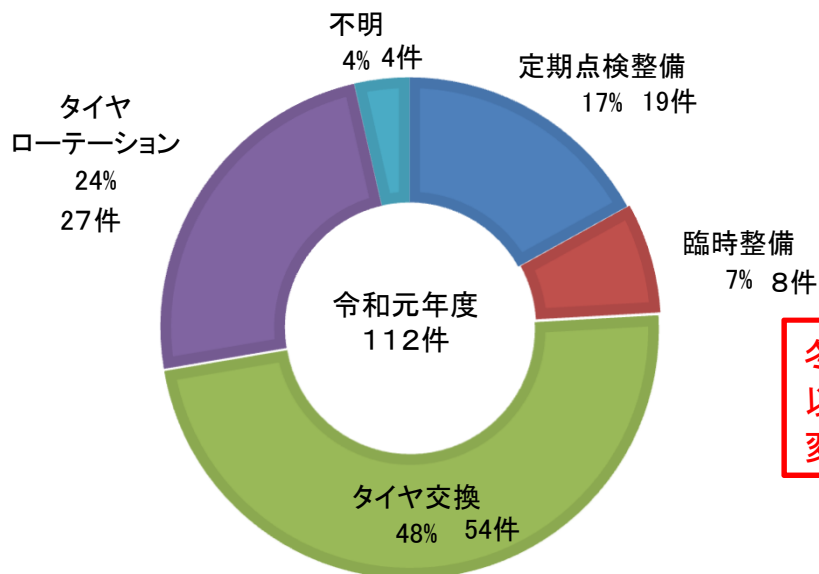
## タイヤ脱着作業実施者別



・ 大型車ユーザーの交換が大半を占める傾向は、前年度と変化なし

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

## タイヤ脱着作業内容別

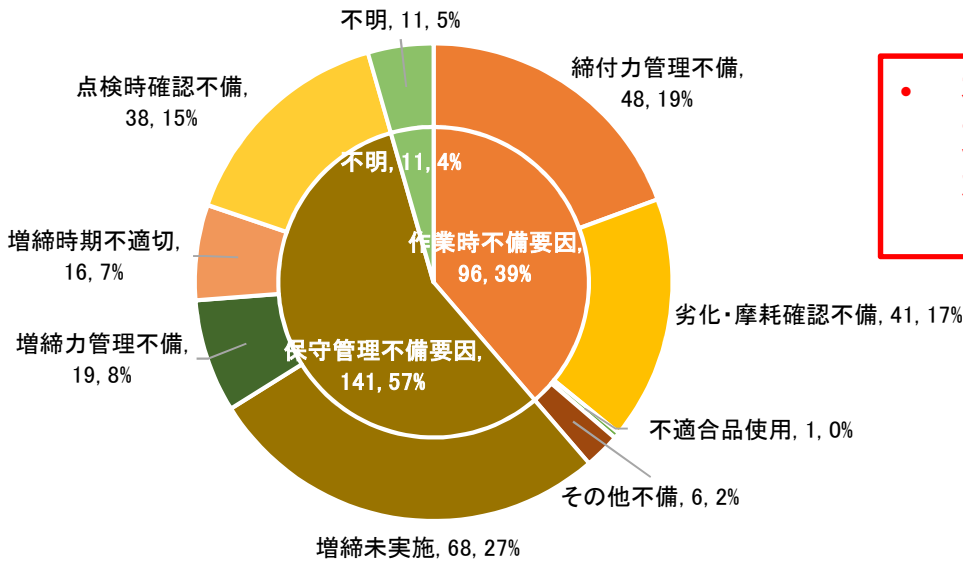


冬用タイヤ等への交換が半数以上を占める傾向は、前年度と変化なし

- タイヤ交換
  - ・ 通常タイヤから冬用タイヤへの交換
  - ・ 摩耗したタイヤの交換 など
- タイヤローテーション
  - ・ タイヤの摩耗が偏ることを防止するため、前後・左右のタイヤを入れ替える

# 車輪脱落事故発生状況（令和元年度）

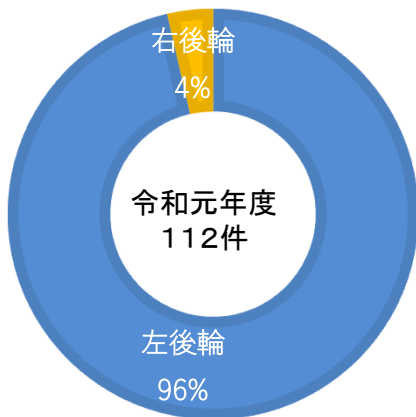
## 発生推定原因



不適切なタイヤ交換作業、交換後の保守管理の不備が主な要因となっている傾向に変化なし

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

## 事故発生車両の車輪脱落箇所



左後輪の集中は、前年度と傾向変化なし

### 左輪タイヤの脱落割合が高いことの推定原因

- 左輪タイヤが多く脱落する原因については、以下の可能性が考えられる。
  - ・ 右折時は、比較的高い速度を保ったまま旋回するため、遠心力により積み荷の荷重が左輪に大きく働く。
  - ・ 左折時は、低い速度であるが、左後輪がほとんど回転しない状態で旋回するため、回転方向に対して垂直にタイヤがよじれるように力が働く。
  - ・ 道路は中心部が高く作られていることが多いことから、車両が左（路肩側）に傾き、左輪により大きな荷重がかかる。
- 前輪は、ホイール・ボルトゆるみ等の異常が発生した場合には、ハンドルの振動等により運転手が気づきやすい。

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告